

洛北SSHだより

令和8年7月17日発行
第4号
総務企画部



「洛北 SSH だより」では、本校 SSH 事業の取組や様々な情報を発信しています。

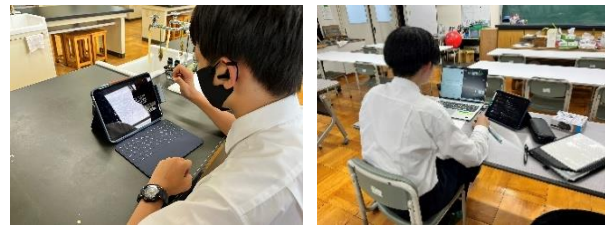
1 みやこサイエンスフェスタ

6月14日(日)、京都大学において、スーパーサイエンスネットワーク京都指定校による研究成果発表会「みやこサイエンスフェスタ」が開催されました。本校からは2班が参加し、「シソの香気成分であるペリルアルデヒドの殺菌効果の検証」および「酸化チタン結晶型の違いによる光触媒活性の評価」をテーマに研究発表を行いました。どちらの班も、これまでの研究成果を分かりやすくまとめ、堂々と発表していました。また、発表後には活発な質疑応答が行われ、多くの意見や助言を得ることで、研究内容への理解をさらに深める貴重な機会となりました。



2 「学びのWEBラボ」始まりました

6月17日(水)から学びのWEBラボが始まりました。今年度本校からは、文化財ラボ、こころ探究ラボ、起業ラボ、プログラミングラボに参加しています。オンラインツールを活用することで、本校だけではできない学びをしていく取組です。成果交流会を含めて、全9回の講座を楽しんでもらいたいと思います。



3 高1文理コース 文理探究Ⅰ

1年生の文理コースでは、週1回「文理探究Ⅰ」に取り組んでいます。この授業は、2年生の「文理探究Ⅱ」で行う本格的な探究活動に向けて、必要となる基礎的な知識や技能を身につけることを目的としています。6月末までは、研究の進め方や仮説の立て方、発表資料の作り方などを、講義やワークショップを通して学びました。夏休み明けからは、文系・理系それぞれのテーマによるミニ探究が始まります。これまでに学んだことを生かし、仲間と試行錯誤しながら、問いを探究する面白さを実感してほしいと思います。



4 高2文理コース 文理探究Ⅱ

2年生の文理コースでは、「数学・統計」「自然科学」「社会・環境」「国際教養」「表象文化」の5つの分野から、希望するゼミを1つ選択し、探究活動に取り組んでいます。各ゼミでは、生徒が興味・関心の近い仲間とグループをつくり、研究テーマを設定したうえで、文献調査やアンケート、観察・実験など、テーマに応じた方法で探究を進めています。6月から7月にかけては探究計画発表会を行い、研究の目的や問い、調査・実験の方法、今後の見通しについて発表しました。他のグループや教員からの質問や助言をもとに計画をさらに練り上げ、いよいよ本格的な調査・実験がスタートします。



5 京都マス・フェス 2026★1st ステージ 京都・大阪マス・インターセクション

京都府では、「面白い」「興味深い」問題をwebに掲載して回答を募集する「京都マス・フェス」を毎年実施しています。かつてテスト形式のコンテストをしていたなごりで、たくさん解けば優秀賞、斬新なアイデアで問題を解けばアイデア賞がもらえます。毎年、洛北生も取り組み、賞をもらっています。詳細は教育委員会HP(右記の二次元コード)で確認してください。なお今年は易しめの問題も用意されています。純粋に数学を楽しみたい人はぜひ参加してください！

★期間：7月7日(火)13:30～1カ月程度

★解答送付：webで直接提出

★解説：8月中旬からオンデマンドで動画を視聴可能。事前に申し込みが必要です。



6 島津ぶんせき体験スクール

7月6日(月)に島津製作所本社において、島津ぶんせき体験スクールに参加しました。体験スクールでは、光の三原色を学んだあと、分光器を使って、実際に溶液の分析を行いました。また、簡易分光器を手作りで作成し、それをを用いた様々なものの観察をとおして、分光器の原理を理解しました。実習を行った後は、島津製作所のショールームにて、実際の製品を見学し、非常に充実した時間を過ごすことができました。来年度は、また違ったコースに参加予定です。皆さんの参加をお待ちしております。



7 【中学1年】洛北サイエンス 琵琶湖博物館 校外学習

滋賀県立琵琶湖博物館に行き、世界の中でも数少ない古代湖である琵琶湖の歴史や生態系などを学びました。琵琶湖やその生態系の研究がどのようなものであるのかに限らず、人間が琵琶湖とどのように付き合い、文化を発展させてきたのかという、社会学に通ずる内容の展示もあり、非常に幅広い学びにつながったと思います。理科学的な研究にとどまらず、人々の生活とのつながりを意識することのできたい機会になったと思います。



8 【中学3年】洛北サイエンス JT 生命誌研究館・国立民族学博物館 校外学習

7月9日(木)、中学3年生が国立民族学博物館とJT生命誌研究館を訪問しました。午前の国立民族学博物館では、久保名誉教授からオーストラリアについて講義をしていただきました。広大な国土に見られる地域ごとの気候の違いや、自然環境と人々の暮らしとの関わり、多様な文化などについて、さまざまな角度から学びました。展示の見学を通して、講義で学んだ内容をより具体的に捉えることができました。午後のJT生命誌研究館では、黒田研究室長から、細胞がどのような仕組みで形づくられていくのかについて講義をしていただきました。身近な生きものの観察や展示を通して、複雑な生物の体が一つ一つの細胞からつくられていることや、生命科学研究の面白さに触れることができました。



限られた時間ではありましたが、社会や文化、生命科学について幅広く学び、充実した一日となりました。